



発行・編集
三島建設業協会
広報委員会
三島市玉川250の2
電話 (055) 975-0332
ホームページ http://www.misimakenkyo.jp
発行日 毎月1日

五輪・ジオパーク目指して新体制

小野会長を再任

三建が通常総会

三島建設業協会(小野徹会長)は五月十八日、三建大会議室で平成二十八年度定時総会を開催し、任期満了に伴う役員改選で、小野会長及び3副会長の再任を決定した。また、同日建設業労働災害防止協会静岡県支部三島分会(小野徹会長)と三島地区建設事業協同組合(小野徹理事長)も総会を開催した。



佐野副会長



小野会長



土屋副会長



齋藤副会長



土屋常任相談役



小野常任相談役



青木相談役理事



海野相談役参与

冒頭あいさつに立った小野会長は、静岡新聞社説の『建設業の担い手、若手の確保と育成を急ぐ』に「県、市町は責任ある発注と述べた。

者として担い手の重要性を認識してほしいと、警笛を鳴らしていただいたことはありがたい。また業界代表の足立としゆき候補者を支援するに併せて役員改選では、各地区別に新たに理事25名(内新任2名)、監事3名(外部監事1名含む)が選出され、新理事の互選により会長に小野徹氏(小野建設社長)再任、副会長に佐野茂樹氏(青木建設社長)再任、齋藤稔氏(齋藤組社長)再任、土屋龍太郎氏(土屋建設社長)再任を決定した。なお、業務執行理事には佐野茂樹氏(青木建設)が、専務理事に遠藤幸久氏(協会事務局)が再選された。

新役員は以下のとおり。
◎会長 小野徹(小野建設)
◎副会長 佐野茂樹(青木建設)、齋藤稔(齋藤組)、土屋龍太郎(土屋建設)
◎常任相談役 小野金彌(小野建設)、土屋昭司(土屋建設)
◎相談役参与 海野英夫(海野建設)
◎相談役理事 青木喜代司(青木興業)
◎専務理事 遠藤幸久(三島建設業協会)

◎理事 石井秀明(石井建設)、大館節生(大館建設)、下田正夫(下田土建)、増淵隆(川口組)、石井宏和(石井組)、石田龍夫(三和建設)、海野祐一(海野建設)、杉山光雄(杉建建設)、杉浦雄一郎(杉浦建設)、河田英治(加和建設)、新任梅原直(駿豆建設)、森田崇(中林建設)、山本良一(山本建設)、青木喜代司(青木興業)、佐々木謙(佐々木組)、高島勝(高島)、森敷(イズケン)、山本裕二(中豆建設)、今井宏昌(今井建設)、出口直樹(東豆土木)、渡辺鉄雄(渡辺工務店)、阿部永子(栗原会計事務所)、外部監事 阿部永子(栗原会計事務所)
◎組合担当監事 天田道夫(天田工業)、渡辺鉄雄(渡辺工務店)(三建兼務)
◎監事 山本裕二(中豆建設)、今井宏昌(今井建設)、高島勝(高島)、森敷(イズケン)

三島建設業協会(小野徹会長)は五月十八日、三建大会議室で平成二十八年度定時総会を開き、総会決議案等について審議した。冒頭あいさつに立った小野会長は、「四月二日に伊豆市修善寺にオープンした『豆市修善寺ジオパークミュージアム』は、世界に向けて子供たちの学習の場として提供され、意義がある施設が完成したと喜んでる。また、熊本地震は比較的安全な地域とされてきた地域で、続けて二回も大地震に見舞われ、1か月が経過した今でも余震が収まらな。ジオパークの雲仙普賢岳、昭和新山や伊豆半島など、景観が素晴らしい一方で地形が複雑な地域では、自然災害が起りやすいので、我々は地域を守る団体として防災、減災等、安全・安心が確保されるよう役割・使命を果たしていかなければならない。次に建設業の不祥事であるが、横浜のマンションのくい打ち偽装に続き、東

京国際空港滑走路の地盤改良の施工不良や、新名神高速道路の橋桁落下事故などに触れ、大手中小を問わず偽装や不適切な工事はあってはならない。担い手確保のためにも、信頼される確かな工事施工が重要である。なお、東日本建設業保証(株)の平成二十六年度決算分析では、静岡県の上高経常利益率がプラスの1.46%になったが、東日本全体のレベルが上がって来たため、静岡県が最低に位置することに変わりはない。県公共工事比率についても静岡県は神奈川県についてワースト2位である。

沼津・熱海土木所長が講演

総会に続いて、沼津土木事務所所長森田尚孝と熱海土木事務所所長植松静夫所長が特別講演を行った。

森田所長は、2016年度の事業費について、「沼津土木事務所は用地費や委託料などを含め約200億円を予定している」と説明。各市町での主要事業を紹介した後、「県は上半期に80%の発注を目指すという方針だ。用地の進み具合など課題もあるが、がんばって進めていきたい。オリンピック関連では、19年度までに35億5000万円の全体事業費を予定。例えば修善寺駅前道路線形を見直す形で交差点改良を計画しており、用地補償を含む

めた事業費は約10億円を見込んでいます。16年度は詳細設計を進め、用地買収もできれば着手したい。17年度には工事を発注できるのではないかと。国道135号バイパスについて、伊豆の国市南江間地区の信号撤去や江間1Cのフルインター化を進める。伊東大仁線では、伊豆の国市内でゆり台の車線整備を2億円の事業費で進める。

16年度は道路事業の予算が厳しいが耐震化事業についてはかなり予算が付いてくるとみられる。トンネル補修についてもひび割れ対

策など工事が出てくると思っています。工事発注方式については、工事成績優良者や休日型、女性登用型などを取り入れて行っていく。事故については、昨年度

故が起らないようにしていければと思う。また、メールなどでお配りしているかと思うが『ミスの発生とその対策』という冊子を手作りし、ミスの再発防止に努めている。三島建設業協会にデータを渡してある

植松所長は、管内の熱海市と伊東市の特色を紹介し、「観光に配慮した魅力的なインフラ整備をしていきたい」と方針を示した。「5月9日時点の16年度当初予算は約25億3500万円を計上している。今後、港湾関係の箇所付受けを受け前年度並みの30億円弱になる」と思われる。事業については、熱海市では各種継続事業に加えて国道135号伊豆我浦橋、伊豆山1号橋道橋、潮路橋の耐震補強や修繕などを新規で進める。熱海港船客待合

岡モデル推進検討会へ答申し必要に応じた対策実施にすすんでいく。入札実施について、熱海土木事務所でも、上半期80%発注を目標として努めた。交通量の多い地域でもあるため、事故には十分気を付けて施工してほしい。また、担い手確保について、公共工事について住民の皆さんに理解してもらうため、現場でのどんな工事をやっているかのPRをするなどで次の担い手の確保につながる部分があると思う。建設業者の皆さんも何か気が付いたことがあればぜひ申し出てください」と締めくくった。

永く愛される地域に 担い手確保に工事のPRを



森田尚孝所長



植松静夫所長

沼津土木事務所管内では8件発生しており、そのうち6件が交通事故だった。注意深くすれば避けられると考えられる事故もあって、事故原因の検証結果を見ていただくと同じような事

ので、ぜひ活用していただきたい。最後に「今後も三島建設業協会の皆さんと一緒に素晴らしい建設物を造って永く愛される地域にしていきたい」と呼び掛けて締めく

とされる。事業については、熱海市では各種継続事業に加えて国道135号伊豆我浦橋、伊豆山1号橋道橋、潮路橋の耐震補強や修繕などを新規で進める。熱海港船客待合

所ではトイレ改修を新規で行う。伊東市では、国道135号大洞2号橋の耐震補強や川奈の伊東港の駐車場改修を新規に計画している。主要事業としては、国道135号伊東市川奈・吉田地区での4車線化事業や県道の狭路部分の整備を行う。また、東京五輪アクセス道路整備として県道伊東大仁線の伊東市宇佐美地区の道路改良を16年度から重点的に進める。河川工事では、伊東大川の河口部分での親水護岸を進める。津波対策としては管内16地区で津波対策協議会を立ち上げており、基本方針取りまとめに向けて協議を進め、静

こつした建設業が低迷している主な要因は、建設投資額の減少や、入札のあり方等が考えられる。今般、建設業法施行令の一部改正されるが、我々は必要な工事に触れ、大手中小を問わず偽装や不適切な工事はあってはならない。担い手確保のためにも、信頼される確かな工事施工が重要である。なお、東日本建設業保証(株)の平成二十六年度決算分析では、静岡県の上高経常利益率がプラスの1.46%になったが、東日本全体のレベルが上がって来たため、静岡県が最低に位置することに変わりはない。県公共工事比率についても静岡県は神奈川県についてワースト2位である。



初夏の色、華やかな衣装を纏うカルミアの花 (三島市内 撮影 青木久尚氏)

総会上程議案を審議

第1回役員会

三島建設業協会(小野徹会長)は五月十八日、三建大会議室で平成二十八年度定時総会を開き、総会決議案等について審議した。冒頭あいさつに立った小野会長は、「四月二日に伊豆市修善寺にオープンした『豆市修善寺ジオパークミュージアム』は、世界に向けて子供たちの学習の場として提供され、意義がある施設が完成したと喜んでる。また、熊本地震は比較的安全な地域とされてきた地域で、続けて二回も大地震に見舞われ、1か月が経過した今でも余震が収まらな。ジオパークの雲仙普賢岳、昭和新山や伊豆半島など、景観が素晴らしい一方で地形が複雑な地域では、自然災害が起りやすいので、我々は地域を守る団体として防災、減災等、安全・安心が確保されるよう役割・使命を果たしていかなければならない。次に建設業の不祥事であるが、横浜のマンションのくい打ち偽装に続き、東

京国際空港滑走路の地盤改良の施工不良や、新名神高速道路の橋桁落下事故などに触れ、大手中小を問わず偽装や不適切な工事はあってはならない。担い手確保のためにも、信頼される確かな工事施工が重要である。なお、東日本建設業保証(株)の平成二十六年度決算分析では、静岡県の上高経常利益率がプラスの1.46%になったが、東日本全体のレベルが上がって来たため、静岡県が最低に位置することに変わりはない。県公共工事比率についても静岡県は神奈川県についてワースト2位である。

こつした建設業が低迷している主な要因は、建設投資額の減少や、入札のあり方等が考えられる。今般、建設業法施行令の一部改正されるが、我々は必要な工事に触れ、大手中小を問わず偽装や不適切な工事はあってはならない。担い手確保のためにも、信頼される確かな工事施工が重要である。なお、東日本建設業保証(株)の平成二十六年度決算分析では、静岡県の上高経常利益率がプラスの1.46%になったが、東日本全体のレベルが上がって来たため、静岡県が最低に位置することに変わりはない。県公共工事比率についても静岡県は神奈川県についてワースト2位である。

雑草に一茎長し夏蓬(トモギ) 和子
尼寺の憂ひ秘めたる四葩(まじらあじさいのこと) かな 文代
玉の汗一糸乱れぬ太極拳 藍子
水中花の静寂(じま)の 真(ま)くれなる 文字
早苗田に月を宿して村眠る ソトム
苗植えてより生れたる南風 泰子
葉柳の枝先重たき夕べかな 十四男
ディズニーのパレード押す 梅雨晴間 たつお
乙女らは白き光や東衣(こ)ろもがえ 苺菜
偵察か客間をひそと蟻連る 真砂代



投網俳句

新委員会がスタート (敬称略)

総務委員会



山本委員長

- ▽委員長 山本良一 (山本建設)
- ▽副委員長 杉浦雄一郎 (杉浦建設)
- ▽副委員長 今井宏昌 (今井建設)
- ▽副委員長 大館節生 (大館建設)
- ▽委員 梅原雅直 (駿豆建設)
- ▽委員 大川三十四 (大川組)
- ▽委員 下田正夫 (株)下田土建
- ▽委員 梅原修司 (株)渡辺工務店
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 森田崇 (中林建設)
- ▽委員 原田精治 (原田建設)
- ▽委員 小野大和 (小野建設)
- ▽委員 大川武 (株)鈴木組
- ▽委員 小林寿幸 (株)新光重機土木
- ▽委員 山本邦彰 (株)泉建設)
- ▽委員 菅沢陽一郎 (青木建設)
- ▽委員 渡辺隆男 (中林建設)
- ▽委員 大川武 (株)鈴木組)
- ▽委員 菅原千裕 (加和太建設)
- ▽委員 山口晴由 (株)中豆建設)
- ▽副委員長 堀口正敏 (株)堀口組)
- ▽委員 渡辺浩三 (株)渡辺工務店)
- ▽委員 松本学 (青木興業建設)
- ▽委員 渡辺実 (渡辺建設)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 高橋嘉則 (三和建設)
- ▽委員 原田精治 (原田建設)
- ▽委員 鈴木好一 (株)伊豆急ハウジング)
- ▽委員 鈴木秀彦 (熱海観光建設)
- ▽委員 石井拓治 (石井建設)
- ▽委員 石井嘉男 (三和建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 関重喜 (青木興業建設)
- ▽委員 関野宣保 (駿豆建設)
- ▽委員長 伊藤利晴 (中豆建設)
- ▽委員 富田浩夫 (株)鈴木工務店)
- ▽委員 伊倉高行 (小野建設)
- ▽委員 中村和巳 (山本建設)
- ▽委員 鈴木好一 (株)伊豆急ハウジング)
- ▽委員 鈴木秀彦 (熱海観光建設)
- ▽委員 石井拓治 (石井建設)
- ▽委員 石井嘉男 (三和建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 関重喜 (青木興業建設)
- ▽委員 関野宣保 (駿豆建設)
- ▽委員長 森田崇 (中林建設)
- ▽委員 長代行 森田康則 (株)森田土木)
- ▽副委員長 石井宏和 (株)石井組)
- ▽委員 濱田博通 (駿豆建設)
- ▽委員 山下照由 (朝日土木建築)
- ▽委員 大川光浩 (大川組建設)
- ▽委員 岩本亨 (山本建設)
- ▽委員長 森田崇 (中林建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 杉山光男 (株)杉進建設)
- ▽副委員長 石井宏和 (株)石井組)
- ▽委員 石井和宏 (株)石井組)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 堀口正敏 (株)堀口組)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 安藤茂 (加和太建設)
- ▽委員 桜井剛 (株)海野建設)
- ▽委員 中戸川秀 (株)齊藤組)
- ▽委員 高梨成太郎 (熱海観光建設)
- ▽委員 篠山弘幸 (株)日吉建設)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 岩崎 亘 (加和太建設)
- ▽委員 村田孝 (南協和建設)
- ▽委員 齋藤直幸 (天田工業)
- ▽委員 山本邦彰 (株)泉建設)
- ▽委員 勝又隆 (小野建設)
- ▽委員 小松巖 (株)小秀土建)
- ▽委員 鈴木昭彦 (梅原土建工業)
- ▽委員 杉山光男 (南杉進建設)
- ▽委員 森敷 (株)イズケン)
- ▽委員長 石田龍夫 (三和建設)
- ▽副委員長 星合信行 (青木建設)
- ▽副委員長 渡辺実 (渡辺建設)
- ▽委員長 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 杉山光男 (株)杉進建設)
- ▽副委員長 石井宏和 (株)石井組)
- ▽委員 石井和宏 (株)石井組)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 堀口正敏 (株)堀口組)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 安藤茂 (加和太建設)
- ▽委員 桜井剛 (株)海野建設)
- ▽委員 中戸川秀 (株)齊藤組)
- ▽委員 高梨成太郎 (熱海観光建設)
- ▽委員 篠山弘幸 (株)日吉建設)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 岩崎 亘 (加和太建設)
- ▽委員 村田孝 (南協和建設)
- ▽委員 齋藤直幸 (天田工業)
- ▽委員 山本邦彰 (株)泉建設)
- ▽委員 勝又隆 (小野建設)
- ▽委員 小松巖 (株)小秀土建)
- ▽委員 鈴木昭彦 (梅原土建工業)
- ▽委員 杉山光男 (南杉進建設)
- ▽委員 森敷 (株)イズケン)
- ▽委員長 石田龍夫 (三和建設)
- ▽副委員長 星合信行 (青木建設)
- ▽副委員長 渡辺実 (渡辺建設)

建築委員会



森委員長

- ▽委員長 伊藤利晴 (中豆建設)
- ▽委員 富田浩夫 (株)鈴木工務店)
- ▽委員 伊倉高行 (小野建設)
- ▽委員 中村和巳 (山本建設)
- ▽委員 鈴木好一 (株)伊豆急ハウジング)
- ▽委員 鈴木秀彦 (熱海観光建設)
- ▽委員 石井拓治 (石井建設)
- ▽委員 石井嘉男 (三和建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 関重喜 (青木興業建設)
- ▽委員 関野宣保 (駿豆建設)
- ▽委員長 森田崇 (中林建設)
- ▽委員 長代行 森田康則 (株)森田土木)
- ▽副委員長 石井宏和 (株)石井組)
- ▽委員 濱田博通 (駿豆建設)
- ▽委員 山下照由 (朝日土木建築)
- ▽委員 大川光浩 (大川組建設)
- ▽委員 岩本亨 (山本建設)
- ▽委員長 森田崇 (中林建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 杉山光男 (株)杉進建設)
- ▽副委員長 石井宏和 (株)石井組)
- ▽委員 石井和宏 (株)石井組)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 堀口正敏 (株)堀口組)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 安藤茂 (加和太建設)
- ▽委員 桜井剛 (株)海野建設)
- ▽委員 中戸川秀 (株)齊藤組)
- ▽委員 高梨成太郎 (熱海観光建設)
- ▽委員 篠山弘幸 (株)日吉建設)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 岩崎 亘 (加和太建設)
- ▽委員 村田孝 (南協和建設)
- ▽委員 齋藤直幸 (天田工業)
- ▽委員 山本邦彰 (株)泉建設)
- ▽委員 勝又隆 (小野建設)
- ▽委員 小松巖 (株)小秀土建)
- ▽委員 鈴木昭彦 (梅原土建工業)
- ▽委員 杉山光男 (南杉進建設)
- ▽委員 森敷 (株)イズケン)
- ▽委員長 石田龍夫 (三和建設)
- ▽副委員長 星合信行 (青木建設)
- ▽副委員長 渡辺実 (渡辺建設)

安全委員会



森田委員長

- ▽委員長 伊藤利晴 (中豆建設)
- ▽委員 富田浩夫 (株)鈴木工務店)
- ▽委員 伊倉高行 (小野建設)
- ▽委員 中村和巳 (山本建設)
- ▽委員 鈴木好一 (株)伊豆急ハウジング)
- ▽委員 鈴木秀彦 (熱海観光建設)
- ▽委員 石井拓治 (石井建設)
- ▽委員 石井嘉男 (三和建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 関重喜 (青木興業建設)
- ▽委員 関野宣保 (駿豆建設)
- ▽委員長 森田崇 (中林建設)
- ▽委員 長代行 森田康則 (株)森田土木)
- ▽副委員長 石井宏和 (株)石井組)
- ▽委員 濱田博通 (駿豆建設)
- ▽委員 山下照由 (朝日土木建築)
- ▽委員 大川光浩 (大川組建設)
- ▽委員 岩本亨 (山本建設)
- ▽委員長 森田崇 (中林建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 杉山光男 (株)杉進建設)
- ▽副委員長 石井宏和 (株)石井組)
- ▽委員 石井和宏 (株)石井組)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 堀口正敏 (株)堀口組)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 出口直樹 (東豆土木)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 安藤茂 (加和太建設)
- ▽委員 桜井剛 (株)海野建設)
- ▽委員 中戸川秀 (株)齊藤組)
- ▽委員 高梨成太郎 (熱海観光建設)
- ▽委員 篠山弘幸 (株)日吉建設)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 岩崎 亘 (加和太建設)
- ▽委員 村田孝 (南協和建設)
- ▽委員 齋藤直幸 (天田工業)
- ▽委員 山本邦彰 (株)泉建設)
- ▽委員 勝又隆 (小野建設)
- ▽委員 小松巖 (株)小秀土建)
- ▽委員 鈴木昭彦 (梅原土建工業)
- ▽委員 杉山光男 (南杉進建設)
- ▽委員 森敷 (株)イズケン)
- ▽委員長 石田龍夫 (三和建設)
- ▽副委員長 星合信行 (青木建設)
- ▽副委員長 渡辺実 (渡辺建設)

労務委員会



高島委員長

- ▽委員長 高島勝 (株)高島建設)
- ▽副委員長 西島正 (大東建設)
- ▽委員 小川澄夫 (株)東豆開発)
- ▽委員長 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 小澤靖彦 (三島土木建築)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 小泉隆宏 (小泉建設)
- ▽委員 土屋昭 (土屋建設)
- ▽委員 安藤茂 (加和太建設)
- ▽委員 桜井剛 (株)海野建設)
- ▽委員 中戸川秀 (株)齊藤組)
- ▽委員 高梨成太郎 (熱海観光建設)
- ▽委員 篠山弘幸 (株)日吉建設)
- ▽委員 杉山潔 (大場建設)
- ▽委員 岩崎 亘 (加和太建設)
- ▽委員 村田孝 (南協和建設)
- ▽委員 齋藤直幸 (天田工業)
- ▽委員 山本邦彰 (株)泉建設)
- ▽委員 勝又隆 (小野建設)
- ▽委員 小松巖 (株)小秀土建)
- ▽委員 鈴木昭彦 (梅原土建工業)
- ▽委員 杉山光男 (南杉進建設)
- ▽委員 森敷 (株)イズケン)
- ▽委員長 石田龍夫 (三和建設)
- ▽副委員長 星合信行 (青木建設)
- ▽副委員長 渡辺実 (渡辺建設)

各種講習会開催決定

安全委

三島建設協会安全委員会(森田委員長)は平成二十八年四月二十六日第一回委員会を開き、講習会・安全パトロール等の事業計画と建設業労働災害防止協会静岡県支部長表彰候補者の推薦について審議した。

冒頭あいさつに立った森田委員長は「四月に発生した熊本地震や五年前に発生した東日本大震災では多くの尊い命が奪われる悲惨な災害となった。熊本地震は今なお揺れが続き、予断を許さない深刻な状況が続いている。また、四月二十二日には新名神高速道路で橋桁が落下し、2名が亡くなり、8名が負傷する事故が発生、さらに三菱自動車による燃費不正問題が発生し



ている。我々企業にとっ て安全や信頼の確保は生命線である。新年度になり新たな業務が発生している中、安全等には充分留意された」と述べた。

会議では、平成二十八年度における作業主任者等講習会、三島労働基

熱海・伊東の3現場巡回

熱海土木と安全委

静岡県熱海土木事務所と三島建設協会安全委員会は四月二十七日、2016年度第一回建設工事安全パトロールを実施し、熱海市と伊東市の現場3カ所を巡回した。

出発前、藤井睦司検査監は、「県の工事検査課から県建設協会や各地区建設協会へ通知されている7つの重点目標について再確認して、安全意識を高めていきた」と注意を呼び掛けた。

1カ所目は熱海市上多賀地内の青木建設が施工する「平成27年度「第27・D7250・01号」(国)135号防災・安全交付金(国道橋梁耐震対策)工事(11・01)」の現場を点検した。



の現場を施工者の担当者とともに見回った。その後、伊東市宇佐美地内の齊藤組施工の「平成27年度「第27・D714928・01号」(主)伊東大仁線社会資本整備総合交付金(県道)路改築・広域)工事(切土法面工(11・01))と伊東市川奈地先の伊豆急ハウジング施工の「平成27年度「第27・S7006・01号」川奈小浦浜里単急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工)(11・01)」の現場を点検した。

点検は、書類や掲示物の確認、重機の管理体制や安全対策など点検項目に沿って丁寧に点検するとともに、現場の担当者らに、第三者事故を含め災害防止等安全の徹底を呼び掛けた。3現場の巡回は概ね良好であった。

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号

◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰

電子マニフェスト即対応 (JWNET,e-reverse,e-マニフェスト) 工場見学随時受付

SEKI TRANSYS セキトランスシステム

HP <http://www.sekitransys.co.jp>
 本社 / 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL <055> 988-6868

<p>廃棄物中間処理</p> <p>ゼロエミ処理対応</p> <p>破砕・圧縮・切断・溶融固化</p>	<p>管理型最終処分場</p> <p>サーマルサイクル施設</p> <p>焼却処分</p>	<p>クレーン作業</p> <p>埋立指定廃棄物に対応中</p>
<p>運輸・倉庫</p> <p>家電リサイクル指定引取場所</p>	<p>テクパル</p> <p>住宅設備機器販売</p>	<p>太陽光発電システム販売</p>

JIS工場からより良い製品をお届けします。

コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非共お願い致します。

(営業品目)

土木用間知ブロック・道路用製品他

土屋建材 株式会社

青木コンクリート工業 株式会社

菅尾工業 株式会社

営業品目

砕石・割栗石
 間知石・埋土工事

立岩石材(株) 伊豆市船原 (0558) 87-0831
 二葉建設(株) 御殿場市新橋 (0550) 82-2087
 サ、キ工業(株) 伊東市萩城の平 (0557) 37-8587

伊豆地区採石業災害防止協議会

SHINKO

土木/解体工事・不動産事業

本社:伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755
 工事部:伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362

産業廃棄物運搬・処分

処分場:伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722

(株)新光重機土木

葦山反射炉の謎

和泉 清

2015年7月に我が国19番目の世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」。「その構成資産の一つ葦山反射炉には連日観光客が訪れ、先日の新聞は、2015年度の見学者が72万6114人を数え前年度の6.8倍に達したことを報じていた。

我が国の産業の近代化は幕末の薩摩・長州・佐賀などの西南雄藩に始まり、幕府、さらには明治政府によって推進された。その結果鎖国により、欧米諸国に約一世紀遅れてスタートした我が国の産業革命が成就したと言えよう。

製鉄・製鋼、造船、石炭産業を核として、非欧米諸国の中で唯一、しかも極めて短期間に産業革命に成功した例は日本だけである。「明治日本の産業革命遺産」は23の構成資産から成っているが、それはあたかも真珠のネックレスに例えられるであろう。

すなわち、各構成資産は23個の真珠であり、それを繋ぎ合わせてネックレス、すなわち世界遺産「明治日本の産業革命遺産」が成り立つているからである。世界遺産登録への動きは2005年の鹿児島県知事の呼びかけから始まったが当初、暫定リストへの登録名は「九州・山口の近代化産業遺産群」というものであった。

それが2011年になって急遽葦山反射炉を加えることになったのは、産業近代化の過程に不可欠な鉄の溶解炉が九州・山口には現在存していないことが判明したからに外ならない。(葦山反射炉は実験炉の段階) すなわち、実際に稼働していたのは、1万年前に世界最古の縄文土器を生み出した以来、日本人が培ってきた優れた技と言えよう。

た反射炉としては葦山反射炉が我が国で(おそらく世界中でも)唯一、ほぼ完璧な状態で残る遺構なのだ。しかも葦山反射炉の価値はそれだけに留まらない。実は外見では分からないところに、その秘密が隠されていたのである。

2万6千個にも及ぶ大量の煉瓦のうち、炉内に貼って付けられた部分は1700度の高温にも耐えられる耐火煉瓦であることが実験で確かめられたのだ。このような高度の窯業技術は、1万年前に世界最古の縄文土器を生み出した以来、日本人が培ってきた優れた技と言えよう。

「白亜の塔」であった。にわかかわらず今日まで160年、一度も崩れず、傾かずに立っているのだから驚きである。イタリヤの「ピサの斜塔」とは対照的に「黒鉄者」たちは、大地震がきても崩れない石垣、傾かない天守閣を築くにはどうしたらよいか知恵を絞ったに違いない。その結果辿り着いたのが先の工法だったのだ。

葦山反射炉はオランダのヒュッゲーニンの著作「ライク王立大砲製造所における鋳物造法」を矢野龍渓が翻訳し、葦山代官・江川英龍の指揮監督の下、4年の歳月をかけて完成した。特筆すべきは、全て国産の資材を使い、日本人だけでこの偉業が達成されたことだ。

たという事実である。しかも、オランダはおろか、反射炉など見たこともない伊豆の庶民・石工、左官、大工、瓦師、黒鉄、鍛冶、鋳物師、人足など延べ2万1300余人の名もなき人々が、この一大国家プロジェクトに携わったからこそ、未永く記憶されていくべきではないだろうか。



伊豆の国市の葦山反射炉

三建めぐり

熱海来宮神社
副巫女長

たなかみや
田中美弥さん



～心清かに参拝できる神域づくりを～

「鳥居をくぐった時に感じる神聖な雰囲気が好きだった」ことに加え、「友人のお姉さんが来宮神社に奉職していて、かねてから関心を持っていた」のが巫女を志したきっかけ。仕事内容は、「祭典での舞や授与所での授与品の頒布、ご朱印・ご祈祷の受付」など多岐にわたるが、「一番の喜びは、参拝に来て下さった方が、笑顔で帰られる姿を見ること」と微笑む。

現在、入社4年目を迎え、副巫女長として広報も担当。大楠がパワースポットとしてテレビで取り上げられたことや、

昨今のご朱印ブームで、参拝客が大幅に増えたことに対応するため、「外国人向けに英語のパンフレットを作成したり、若い女性向けに神社と縁のある食材を使った『来福スイーツ』をつくり、直営店の『報鼓』や『おやすみ処』で販売したりするなどの計画を練って実行している」。「世代や国籍を超えて、心清かに参拝できる神域づくりをこれからも進めていきたい」と意欲を見せる。

建設業界については、「戸建て住宅や店舗などの地鎮祭の際、準備などを手伝ってくれる方が多く、身近で頼りになる存在」という印象を持つ。

趣味はスポーツ全般。特に、「マリンスポーツが好き」で、この季節の週末は、ウェイクボードやウィンドサーフィンをして、各地の海岸へ出掛けることが多い。伊東市出身。父、母、兄、弟の5人家族。



ウェイクボードを楽しむ

第1回代議員会議開く

技士会三島

静岡県土木施工管理技士会三島地区(佐野茂樹地区長)は平成二十八年五月十九日、三建中会議室で代議員会議を開いた。



クシヨーンについての実務研修が実施できた。本日は新旧代議員の顔合わせ、平成二十八年度事業活動等について協議していただきますのでよろしくお願いします。

耐震用構造部材、現場省力化商品、鉄筋加工品など特色有る商品群

- ファブデッキ：耐震性、居住性抜群、重量物載荷でもひび割れ無しの構造床材
- FBRリング：閉鎖型せん断補強筋、フラッシュパット溶接で施工性抜群!
- パーメッシュ：異形鉄筋溶接金網、図面で割り付け、現場は置くだけ!
- SHC：熱間成形コラム、鉄本来の粘りを持った新発想の柱材...etc、詳しくは、当社営業までお問い合わせください。

ねじ1本からプラント用部材、
高層ビル用鉄骨材料まで
鉄の百貨店

柔軟な発想で鉄の未来をつくる

近藤鋼材株式会社

URL: <http://www.kondo-kouzai.co.jp>
メール: mail@kondo-kouzai.co.jp
沼津営業所 ☎ <055> 925-1900
FAX <055> 925-1970
静岡営業所 ☎ <054> 256-1200
FAX <054> 256-1220
伊豆営業所 ☎ <0558> 87-0500
FAX <0558> 87-1000

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

事務所 沼津市足高338-1 電話 <055> 925-3344(代)
FAX <055> 925-3317

■組合員

- | | |
|-----------------|------------------------|
| (株)イワタ沼津工場 | 二葉建設(株)生コン部 |
| 東宏生コンクリート工業株式会社 | 静岡生コン(株) |
| 三島生コン(株) | 野村マテリアルプロダクツ(株)伊豆さくら工場 |
| (有)高田建材 | 裾野生コン(株) |
| (株)しょうじ建設函南生コン | 渡邊工業株式会社 第一生コン工場 |
| 小野建設株式会社 | (株)タカムラ生コン |
| 修善寺生コン工場 | |
| 有限会社長岡生コンクリート | (株)古藤田生コン |
| 新スルガ生コン(株) | (株)広川生コン |

“水”と“空気”と“環境”の良い住い作りに
花のある快適な暮らしのお手伝いをします。



総合設備設計・施工
(沼津市三島市及び近隣市町指定工事店)

株式会社 大石設備 “DAISETSU”
代表取締役 大石 千鶴子
本社/沼津市大岡525-7 TEL<055> 962-7216
FAX<055> 963-4879
三島支店/三島市錦ヶ丘3-12 TEL<055> 975-7928

E-mail: daisetsu-soumu@krf.biglobe.ne.jp

創業100年・最新技術・末永いサービス
省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工



片野設備株式会社

代表取締役 片野 誠一

ISO 9001
認証取得

〒411-0035 静岡県三島市大宮町3-3-12 TEL 055-971-2205(代) FAX 055-973-5246
E-mail: info@katanosetubi.co.jp URL <http://www.katanosetubi.co.jp>